

平成 18 年 12 月 13 日

各 位

会社名 ゼネラル株式会社
代表者名 取締役社長 北田 猛
(コード 3890 大証第2部)
問合せ先 総務部長 野口 照夫
(TEL 06 6933 1805)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 6 月 13 日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した業績修正予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1 18 年 10 月期 個別通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,120	330	240
今回修正予想 (B)	2,131	345	224
増減額 (B - A)	11	15	16
増減率 (%)	0.5%	4.5%	6.6%
前期 (平成 17 年 10 月期) 実績	9,042	471	76

2 18 年 10 月期 連結通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	32,500	900	400
今回修正予想 (B)	31,957	723	192
増減額 (B - A)	543	177	208
増減率 (%)	1.7%	19.7%	52.0%
前期 (平成 17 年 10 月期) 実績	32,116	607	438

3 修正の理由

(個別業績)

売上高、経常利益につきましては、前回発表の業績修正予想の範囲内でありましたが、当期純利益に関しましては、投資有価証券売却損が77百万円増加したこともあり、予想を240百万円から224百万円に修正いたしました。

(連結業績)

売上高につきましては、分譲マンション(旧本社工場跡地再開発事業)の残戸の内2戸を販売したことなどにより、不動産部門に関しては、ほぼ予定どおりでありましたが、一方、子会社におきましては、OA関連事業とリサイクルトナー事業における販売競争激化の影響から予想を下回り、この結果、連結売上高を通期543百万円減の31,957百万円に修正いたしました。

利益につきましては、OA関連事業及びトナーリサイクル事業の売上減の影響ならびに原油高騰に伴うコストアップ要因に諸施策を実施いたしましたが吸収しきれず、加えて、今後の主力製品として当社グループが総力をあげて取り組んでおりますフォトプリンター向け昇華型熱転写リボンおよび受像紙の開発費用等の負担が重なり、経常利益段階で、予想を177百万円下回る723百万円に修正いたしました。当期純利益につきましては、投資有価証券売却損等が高み、208百万円減の192百万円に修正いたしました。

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されている売上高および利益の予想金額は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、実際の売上高および利益は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上